令和8年度
NO.7
2026/10/16

松戸市立第一中学校

みらい分校だより



学校HP

前期・確認テスト　学習を振り返る



テストと聞くと「成績をつけるためのテスト」いうイメージがありますが、本校は違います。成績のためではなく、学んだことを振り返り、「できるようになったこと」と「もう少し頑張ること」に気づくためのテストです。それでも、生徒は緊張感が漂う中、一問一問に真剣に取り組んでいました。努力の成果を確かめ、次のステップにつなげるための大切な時間となりました。

新たな学びのスタート　後期・入学式



本校では４月と１０月の２回、新たな仲間を迎える入学式を行っています。今回の入学式では４名の生徒が入学しました。日本出身１名、パキスタン出身３名の生徒です。新入生のこれまでの道のりはひとり一人違います。しかし、「学びたい」という気持ちは、誰にとっても大切な一歩です。式では在校生や教職員が温かい拍手で新入生を迎えました。緊張気味の新入生も、式が終わるころには笑顔が見られ、仲間と共に歩み出す決意が感じられました。今後の学校生活で、学びの喜びと仲間とのつながりを実感できるよう、教職員一同で支えてまいります。

式の後は、少しでも早く仲良くなれるように、在校生が中心となって「入学を祝う会」を行い、おおいに盛り上がりました。

【歓迎の言葉】



私は１年前にみらい分校に入学しました。その頃は不安でずっと緊張していました。みんなとどう付き合えばいいかわかりませんでした。最初はみんなと話すと頭が真っ白になっていましたが、今では自然に会話ができるようになりました。日本語も少しずつうまくなり、たくさんの人と話せるようになりました。みらい分校はさまざまなことを学べる学校です。わからないことがあるときや、間違えたときでも、先生は何度も励ましてくれます。休み時間は友だちと一緒にＵＮＯをしたり、話をしたりしています。とても楽しい時間です。そんなみらい分校が私は大好きです。新入生のみなさんとも、これからたくさんの思い出をつくりたいです。一緒に授業を楽しんだり、校外学習に行ったりして、仲良くなりましょう。

【新入生代表あいさつ】



わたしたち　よにんは
きょう みらいぶんこうに
にゅうがく　しました。
わたしの　いもうとは
みらいぶんこうで
にほんごが　とても　じょうずに
なりました。
わたしも　いっしょうけんめい
べんきょうして、にほんごの
ちからを　つけたい　です。
きょうから　よろしく
おねがいします。

教科の紹介（2） 社会

みらい分校の国語は「基礎国語」と「国語」に分かれています。

基礎国語は、日本語を母語としない生徒が学びます。小学校の教科書を使いながら、語彙を増やしたり、オノマトペ（擬音語、擬声語、擬態語）を覚えたり、文法を学んだりしています。中学校や高校の国語の学習内容を理解できるようにするためです。

国語は、日本語が母語の生徒が学ぶ教科です。「話す・聞く・書く・読む」の技能が養えるように工夫しています。少人数の学習なので、一人ひとりが自分の考えをもち、それを表現することができます。文章を書いたり、読書の習慣を身につけたりと、学んだことを生活の中で生かせるようにしていきます。